

2022年度第4回理事会報告

開催日時:2022年10月14日(金) 17:00～19:00

開催場所:たかつガーデン大阪府教育会館3階会議室ローズ

(〒543-0021 大阪府大阪市天王寺区東高津町7-11)

I. 会長挨拶

定刻となり、空閑浩人会長からの挨拶に続いて、新役員体制となって初めての対面開催であったため、出席者全員が自己紹介を行った。

II. 理事会開会宣言(欠席理事の確認)

定款第42条に基づいて空閑会長が議長となり、出席理事および欠席理事を確認した。定款第43条に規定されている要件を充足したため、「2022年度第4回理事会」を開催するとの宣言があった。なお、定款第47条に則り、議事録署名人として空閑会長、大島監事、岡部監事を選出した。

III. 審議事項

第1号議案 入会審査

総務担当木下理事より資料に基づき説明があった。審議の結果、25名全員の入会が満場一致で承認された。

第2号議案 2023年度業務委託契約について

総務担当木下理事より、株式会社国際文献社との2023年度業務委託契約書類について、配付資料に基づき説明があった。審議の結果、2023年度業務委託契約が満場一致で承認された。

第3号議案 機関誌編集委員の追加委嘱について

機関誌編集担当理事より委員追加の要請があった。審議の結果、2名を追加委員として委嘱することが満場一致で承認された。

第4号議案 「一般社団法人日本社会福祉学会旅費規程」の改定について

総務担当木下理事より、「一般社団法人日本社会福祉学会旅費規程」の改定について配付資料に基づき説明があった。審議の結果、満場一致で承認された。

第5号議案 2024年度秋季大会開催校について

空閑会長より、2024年度に開催される第72回秋季大会の開催校について説明があり、審議した結果、2024年度秋季大会開催校の選定に関する今後の方針について、満場一致で承認された。

第6号議案 海外在住会員の年会費支払方法の拡充(Paypalの利用)について

学総務担当木下理事より、(株)国際文献社によるPayPalを使用した海外在住会員の年会費請求の代行について配付資料に基づき説明があり、審議の結果、満場一致で承認された。

第7号議案 その他

その他の審議事項は特になし。

IV. 報告事項

1. 2022年度会員動向

総務担当木下理事より2022年度の会員動向について配付資料に基づき報告があった。

2. 全国大会運営委員会からの報告

研究担当伊藤理事より、各行事の準備状況等について配付資料に基づき報告があり、その後、行事ごとにそれぞれの担当理事から詳細な説明があった。

3. 機関誌編集委員会からの報告

機関誌編集担当坪理事より、機関誌『社会福祉学』の論文投稿受付・審査および編集状況について、配付資料に基づき報告があった。

4. 国際学術交流促進委員会からの報告

国際学術交流促進委員会担当の金子副会長より、第70回秋季大会で実施する留学生と国際比較研究のためのワークショップの準備状況等について配付資料に基づき報告があった。また、今大会には韓国から5チーム(ポスター発表3件、口頭発表2件)、中国から1チーム(ポスター発表)が参加予定である。

10月に開催予定であった中国福祉研究専門委員会による「東アジアフォーラム」が11月～12月へ延期になったとの報告があった。

5. 学会賞審査委員会からの報告

学会賞審査委員会担当杉山理事より、第70回秋季大会の開会式に引き続いて執り行われる学会賞授賞式、および授賞式冊子について、配付資料に基づき説明があった。

6. 研究倫理委員会からの報告

現在進行中の調査案件はなし。

7. 広報委員会からの報告

広報委員の山本理事より、随時、学会ホームページの更新および多言語翻訳を行い、定期的に広報活動を行っているとの報告があった。また、Twitterの運用方法等について検討中である。

8. アーカイブ化推進委員会からの報告

アーカイブ化推進委員会担当元村理事より、学会事務局で保管している史資料の中身を精査し、目録化の予定であるとの報告があった。

9. 研究支援委員会からの報告

研究支援委員会担当高良理事より、スタートアップ・シンポジウム、CS-NET、リレーエッセイおよびサロン企画等の進捗状況等について、配付資料に基づき報告があった。

10. 地域ブロックからの報告

- ・北海道地域ブロック：6月4日（土）にハイブリッド形式にて学会シンポジウムおよび総会を実施した。11月1日（火）に第1回定例研究会を開催予定である。
- ・東北地域ブロック：9月2日（金）に第2回東北部会（幹事・監事会）を開催した。また、第21回大会（青森大会）は11月23日（水・祝）に対面にて開催予定である。
- ・関東地域ブロック：機関誌に12本の投稿があり、現在審査を行っている。また、ブロックで実施している奨励賞についても審査を行う予定である。今年度の研究大会の企画等について幹事会で検討を行っている。
- ・中部地域ブロック：9月22日（木）に幹事会を開催し、例会に向けた審議を行った。
- ・関西地域ブロック：2023年2月26日（日）に2022年度年次大会を同志社大学で、2022年11月26日（土）に第51回若手研究者・院生情報交換会を大阪公立大学で開催予定である。また、機関誌『関西社会福祉研究』の査読中である。
- ・中国四国地域ブロック：秋季大会の開催候補校の検討を続けている。また、10月末に機関誌『中国・四国社会福祉研究』の発行を予定している。
- ・九州地域ブロック：第19回フォーラムの主催ブロックの企画案等について検討を行っている。2023年3月に発行を予定している機関誌『九州社会福祉学』の審査中である。

11. その他（後援依頼、関連団体からの報告、他）

・後援（協賛）依頼について

総務担当木下理事より、過年度の実績があることから、3件の後援依頼に承諾したとの報告があった。

・関連団体からの報告

1) 日本社会福祉系学会連合

保正副会長より、本学会と共同して実施予定であったニーズ調査を次年度に実施予定であるとの報告があった。

2) ソーシャルケアサービス研究協議会

報告事項は特になし。

3) 社会政策関連学会協議会

杉山理事より2023年3月にシンポジウムをオンラインにて開催予定であるとの報告があった。詳細について検討中であり、12月初めに周知の予定である。

4) 社会学系コンソーシアム

木下理事より、2023年1月28日(土)に「ダイバーシティ推進と日本社会の<不平等>」をテーマに、オンラインにてシンポジウムの開催を予定しているとの報告があった。

5) 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会:GEAHSS(ギース)

保正副会長より配付資料に基づき、9月25日(日)に開催されたGEAHSS運営委員会の報告があった。

6) 人文社会系学協会連合連絡会

木下理事より、1年間メーリングリスト管理担当を務めることになったとの報告があった。

7) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟

空閑会長より、11月12日(土)-13日(日)にオンラインにて開催される第51回全国社会福祉教育セミナー2022「無関心が生む不正義と不誠実を乗り越えるために~変化の中でのソーシャルワーク教育を考える~」の案内があった。

議長は、議事終了を告げ、19時00分に理事会を解散した。

以上